

2025 年 9 月 19 日

各 位



会 社 名 J C R フ ァ ー マ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦 田 信
(コード番号 4552 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員経営戦略本部長 伊 藤 洋
E-mail : ir-info@jp.jcrpharm.com

アレクシオン社との神経変性疾患治療薬に関する共同研究における マイルストーン達成のお知らせ

J C Rファーマ株式会社（代表取締役会長兼社長：芦田 信）は、アレクシオン・アストラゼネカ・レアディーズ（以下、アレクシオン社）との共同研究において、所定のマイルストーンを達成したことをお知らせします。両社は、J-Brain Cargo®を適用した神経変性疾患の治療薬用タンパク質候補の[共同研究契約](#)を締結しています。今回の成果を受け、当社はアレクシオン社より一定のマイルストーンフィーを受領します。

本契約の他に、当社とアレクシオン社は、[2023 年 12 月](#)に J-Brain Cargo®を用いた核酸医薬品の創製に関する共同研究契約を、[2025 年 7 月](#)に JUST-AAV 技術に関するライセンス契約をそれぞれ締結しており、アンメット・メディカル・ニーズの解消に向け複数のパートナーシップ活動を進めています。

なお、本件に関する今期（2026 年 3 月期）の当社連結業績への影響は、連結業績予想に織り込み済みです。

J-Brain Cargo®技術について

当社が独自に開発した血液脳関門通過技術であり、中枢神経系にバイオ医薬品を送達することを可能とする。本技術を世界で初めて適用した医薬品として、ムコ多糖症 II 型治療剤「イズカーゴ®」（国際一般名：パピナフスプ アルファ）が日本で実用化されている。

JUST-AAV について

目的とする特定の組織・臓器への指向性を持たせ、安全性を高めるために特定の組織・臓器への移行性を低減させるようなカプシド表面を改変した AAV（アデノ随伴ウイルス）。またその技術の総称。「JCR」「**U**ltimate destination of organ」「**S**afeguarding against off-target delivery」「**T**ransformative technology」の頭文字を名称の由来とし、様々な疾患の治療に応用できる可能性をもつ当社独自の遺伝子治療プラットフォーム技術である。

ニュースリリースは株主・投資家の皆さまや報道関係者へ、当社の事業に関する最新情報の提供を目的としたものです。本資料に含まれている医薬品（開発中の物を含む）に関する情報は宣伝広告、医学的アドバイス等を目的とするものではありません。

以 上